

次世代自動車宮城県エリア

次世代自動車のための産学官連携イノベーション

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…東北経済連合会
インテリジェント・コスモス研究機構
学…東北大学
官…宮城県
金…七十七銀行

地域イノベーション戦略

東日本大震災からの復興、再生の鍵として、コンパクトカーを中心とした自動車産業集積と最先端の自動車開発への期待が広がっています。本地域イノベーション戦略では、東北大学をはじめとした高水準のシーズ・技術を発展させ、地域企業との連携を通じて地域の技術力を強化し、宮城県を中心とする東北地方を自動車産業の一大集積地として持続的に発展させられるよう、次世代自動車のための研究開発拠点を旨とするとともに、震災による被災からの復興を強力に推進します。



プロジェクトディレクター
中塚 勝人

略歴：東北大学工学研究科長、
同副学長・理事（研究担当）
みやぎ産業振興機構理事長。

自動車産業は急速な人口増加を背景とする成長分野である。東北地方は宮城・岩手両県を中心にコンパクトカーの生産集積地として整備されつつあり、今後の激しい開発競争に打ち勝つ人材と技術の基盤作りが課題です。東北大学の多数の自動車関連研究と地域企業との協力関係を強化し、岩手県プログラムと連携・補完を図りつつ自動車産業基盤の強化と大震災からの復興を目指します。

事業の内容

【全体計画及び成果】

(全体計画)

1. 大学等の知のネットワークの構築：地域の技術シーズと地域の企業ニーズのベスト・マッチングを図り、事業の“卵”の創出を促進します。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施：独自の超実践的人材育成プログラムにより企画開発型人材の育成を目指します。
3. 地域の大学等研究機関等での研究設備・機器等の共有化：宮城県産業技術総合センターと東北大学の最先端機器を地域企業に開放し、地域発展を目指します。

(成果)

大学と企業の枠を超え、45の大学研究室と新規事業に積極的な43の地域企業を集約。「電気自動車実用化計画」2件が進行中。一つは実用化のための企業連携組織を結成して復興庁事業支援予算に内定。もう一つは「トライクネオ」起業を決定、宮城県企業支援資金受理が確定。「ガス活用エンジン開発」は地域企業4社で多元燃料エンジンの改造試作実験を進行中。全体として、関連要素研究において特許出願25件、試作品31件、製品化数18件。



みやぎ復興パークの電気自動車試作品展示風景

【実施する支援メニュー】

1. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関：インテリジェント・コスモス研究機構)
・地域の大学等研究機関におけるコンソーシアム等の知のネットワークを構築
2. 地域イノベーション戦略支援実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 (実施機関：東北大学、宮城県)
 - (1) 東北大学が実施する人材育成カリキュラム
 - (a) 次世代自動車のための産学官連携イノベーション基礎教育コース



第1回人材育成プログラム基礎・実践コースの授業風景

- (b) 共用研究設備・機器・ソフトウェアを活用する次世代自動車関連技術の実習コース
- (c) 産学官連携プログラムの成果を自らの業務での成果に展開する応用・実践コース
- (2) 宮城県が実施する人材育成カリキュラム
みやぎカーインテリジェント人材育成センターによる講座開設
3. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共有化
(実施機関：東北大学、宮城県)
・東北大学・宮城県が保有する計236の機器が当プログラムの共用設備として開放されています。